

6 教育研究等

(1) 訪問教育研究会（訪問教育担当教員講習会）

ア 趣 旨

訪問教育担当教員及び、重度・重複障害児の担当教員を対象に専門的な知識及び技術を修得ための講習会を開催し、もってその指導力の向上を図る。

イ 参加者 訪問教育担当教員等 36人

ウ 期 日 平成24年7月31日（火）、8月1日（水）

エ 会 場 長野県長野養護学校

オ 研究内容

(ア) 研究発表、研究協議

- a 児童生徒の実態とその支援
- b 訪問教育、重度・重複教育の実際
- c テーマ（校外学習、卒業後の生活、日常生活の指導）別グループ討議

(イ) 施設見学、講話

- a 「長野市障害者福祉施設 ハーモニー桃の里」見学
- b 講話「重症心身障害児の福祉の現状と課題（長野市の場合）」

講師：ハーモニー桃の郷所長 吉澤 利政 氏

(2) 特別支援教育体制整備への対応

国の提唱する特別支援教育体制の構築に向けて、特別支援教育コーディネーター養成研修をはじめとする研修会の開催や、「特別支援教育コーディネーターハンドブック」を作成し、小・中・高・特別支援学校や関係機関等へ配布し、理解啓発を図った。

7 進 路 指 導

(1) 中学校特別支援学級進路指導研修会

ア 趣 旨

中学校の特別支援教育担当教員を対象に進路指導の基礎的研修を行い、以って進路指導にかかわる実践的指導力の向上を図る。

イ 参加者 中学校特別支援学級担任等 122人

ウ 期日及び会場 平成24年6月11日（月） 長野県総合教育センター

オ 内 容

- (ア) 講義「中学校特別支援学級における進路指導について」
- (イ) 実践発表「中学校特別支援学級における進路指導の実際」
- (ウ) 情報提供「特別支援学校高等部（高等学校）での生活、中学校の生活で大切にしていること」
- (エ) 協議「進路指導を行う上での課題工夫等 意見交換・情報交換」

8 障害児（者）理解

○ 交流教育提携校

特別支援学校と 80 校の保育所・幼稚園、小学校、中学校、高等学校等とが提携し、通常の学習、運動会などの学校行事や、児童、生徒会の活動などを通して交流した。

9 研究指定校等（文部科学省特別支援教育総合推進事業）

○「早期からの教育相談・支援体制構築」（24 年度）

特に中山間地の小規模自治体において、自治体単独での早期からの教育相談・支援体制を確立することが困難な地域であり、就学相談委員会が未設置である下伊那南部地域における就学相談委員会の共同設置に向けた取り組みを支援し、地域の早期教育相談・支援体制の構築を図る実践研究を推進した。

○「高等学校における発達障害のある生徒へのキャリア教育の充実」（24 年度）

南安曇高等学校における発達障害等のある生徒の進路保障のために、体系的なソーシャルスキルトレーニングの導入等を実践研究として取り組んだ。

○「特別支援教育に関する教育課程の編成等についての実践研究」（24 年度）

モデル校として小学校 4 校を指定し、通常の学級における発達障害のある児童生徒への指導の在り方や、一部特別な支援を必要とする児童生徒に対する校内支援体制の在り方について、実践研究及び具体的授業研究を通して検証した。

10 特別支援教育就学奨励費

特別支援学校に就学する児童・生徒の保護者に対して、経済的負担を軽減する目的で、特別支

援教育就学奨励費を支給した。 333,133,211 円 (国庫1/2以内 154,401,538 円)

11 学 校 評 議 員

平成 14 年度から特別支援学校に学校評議員制度を導入した。

1 校当たり 5～8 名程度 全 18 校に設置